

## 式辞（令和２年度第２学期終業式）

思いがけず、多分、全県で一番早い終業式となりました。皆さんにとってはどのような二学期だったのでしょうか。

まず、二学期の始業式で話したことを思い出してみましょう。

一つ目は、原爆が投下された日と終戦記念日に何を考えたのか？

二つ目は、学期ごとに欠かさずお話ししていること。

「なぜ、学ぶのか？」

「一日一日を大切に、小さい積み重ねを毎日継続すること」

「自分の善さを見つけて自分の命を大切に。他人の善さを認めて、自分の命と同様に大切すること」

三つめに、大間 GP（自己肯定力・実行する力・考え抜く力・協働する力・郷土を愛する力）を意識すること。これらのことをお願いしてスタートしました。

３年生の多くは、就職先、進学先が内定しています。そして、残り２か月あまりの登校で卒業予定ですが、３年間の高校生活はどうでしたか、今お話ししたことについて、しっかりと考え、成長することができたでしょうか？来月は、後輩に自分の進路体験をお話しする機会があります。今確認したことを柱に、君たちだからこそ言える、高校生活での気づきを伝えてください。お願いします。

さて、二学期の終わり、そして、２０２０（令和２）年の終わりにあたり、「エコー・チェンバー」ということについてお話ししたいと思います。

熊本大地震、平成３０年７月豪雨、大統領選挙、コロナ禍などでの異常行動など、大きな混乱が起きたとき、明らかに、デマ、フェイクとわかりそうなことであっても誤った情報を信じて疑わない人々が増えて来ているようです。

その背景に、この「エコー・チェンバー」があるといわれています。

「エコー・チェンバー」とは、おもに音楽の録音用に設置された残響室のことを言います。そして、そこから転じて、マス・メディアや SNS などにおいて、同じ意見の人だけが話し合っ、その特定の意見だけが増幅され、正しいことだとみんなが信じこんでしまう現象のことを「エコー・チェンバー化」・「エコー・チェンバー現象」などというのだそうです。

インターネットでは、自分の考えとよく似た、あるいは自分が賛同する、自分が検索した特定の見解をすぐに探し出し、「いいね!」をしたり「リツイート」したりするシステムがあるため、ネット上で情報を検索すると、自分と同じような趣味・興味・考え方の人の情報が提示されやすくなり、同じような情報だけがやり取りされるため、誤った情報が増幅されて流れやすいのだそうです。

これと似た現象に「フィルター・バブル」という現象があります。これは、AI 等により、検索サイトのアルゴリズムが個人に最適化される傾向があるため、やがては、自分の意見と異なる意見、反対の意見を検索すること自体が出来なくなり、結果として、ザトウクジラのバブルネットフィードィングのように、私達の思考が泡（バブル）のような狭い閉じた空間にとらわれた状態にされてしまうことを言うのだそうです。

いずれにせよ、ネットによる現代人のつながりでは、どうしても、自分に都合の良い考え方、一方向の考え方が、増幅されてしまいがちだということです。

諺に「井の中の蛙大海を知らず」(The frog in the well knows nothing of the great ocean.) という言葉があります。

今は、非常に多くの情報にあふれています。しかし、一歩引いて自分とその周りを俯瞰してみると、もしかすると、私たちは、洞窟の中、または、井戸の中のような狭い空間にいて、自分の外側の現実社会から目をそらし、正しい情報を知ろうとせず、一方向から飛び込んでくる自分に都合の良い情報だけを頼りにして暮らしているのかもしれない。

これは、なにもネット上のことだけではありません。私たちは、今まさにこの場で、現実の人間関係で、先入観や誤った情報で人を判断したり、評価したりしているのかもしれない。

私たち人間は、他人の誤りや過失にはよく気がつくものです。大人であれば職場の同僚、皆さんであれば、友達やクラスメートらが何を言ったのか。どれだけ自分に嫌なことを言ったのか。どれだけ迷惑をかけたかなど……。他人（ヒト）のことにはとても敏感で、しばしば陰口や不平不満をいいます。その一方で、自分がしたこと、言ったことを振り返って、反省したり、自分を評価したり、することは本当に苦手です。

だから、自分のことを振り返ることがない人は、自分の誤りを指摘してくれる真に大切な友人を寄せ付けず、自分の考えに同調する友人とだけ付き合おうとする傾向がみられます。そうすると、ますます、自分の不満だけが増幅してしまいます。

仏陀（仏教）は次のようなことを言ったそうです。

「他人の過失をみるなかれ。

他人のしたこと、しなかったことをみるな。

ただ、自分のしたこと、しなかったことだけをみよ。」

また、吉野弘という方のある詩の中にこんな言葉を見つけました。

～正しいことを言うときは/少しひかえめにする方がいい

正しいことを言うときは/相手を傷つけやすいものだと

気づいているほうがいい～

しばらく、生徒玄関に掲示していましたが、気づいた生徒はいましたか？

最後になりますが、令和3年。新年と三学期はすぐそこです。

未だに収まらない新型コロナウイルスですが、もし、冬季休業中に感染者が出たとしても、感染者を詮索したり、誹謗中傷したり、噂を広めたりすることは絶対にしないようお願いします。

そして、皆さんと皆さんのご家族が、健康で、少しでも前向きな、明るい新年を迎えられることをお祈りして二学期終業の式辞とします。

令和2年12月14日

青森県立大間高等学校

校長 森田 勝博